

第6回八街市協働のまちづくり検討会議事録

日時：平成26年7月17日 18時30分から

場所：八街市中央公民館 1階 中・小会議室

出席者35名 欠席者6名

1. 開会

2. 議題

(1) 分科会開催

事務局より本日の注意事項を連絡後、直ちに各分科会の討論を開始。

20時00分より各分科会における本日の発表・意見交換開始。

第1分科会 テーマ：高齢者・障害者福祉

見守り、居場所、生きがい、社会参加、社会貢献、交流などについて、共通する部分話し合いました。

前回の宿題として、高齢者・障害者福祉について今まで出た課題を克服するアイデアを出して、そのアイデアがどのような理由から必要になるのかを話し合いました。

各小学校区で、各地区の社会福祉協議会を核として協働の推進を行ったらどうかという話がありました。

あと、自治会の加入率を増加する対策はどのようなものがあるのかを話しあったが、区の内容もマンネリ化しているのではないか。また弱者への活動が少ないのではという意見があり、自治会自体の事業において魅力のあるものをおこなっていく必要があるのではとの意見がありました。また、災害時の要援護者の対策として、最終的には隣近所の交流が大事ではないかという話になりました。高齢者の見守りと居場所づくりの話では地域の近隣で見守り助け合うようなまちづくりをしていく必要があるのではとの意見がありました。地域の中で集まり交流を深めて、お年寄りから子どもまで交流を図れるようなまちづくり、たとえば子育てサロンとか高齢者サロンを立ち上げたらよいのではとの意見がありました。

あと、高齢者と子どもたちと障害者が日頃から助け合う気運を高める。子どもの頃から地域において挨拶ができるようなまちづくりをしていってはどうかとの意見がありました。あと、支援者のいない人ということで、昨年雪が降ったと思いますが、障害者の方が車を出したいけれど雪かきができずにでれないため、市に電話をしたということがあったそうですが、市では対応が難しいというので、社会福祉協議会へ連絡し有料ボランティアに対応してもらったそうですが、これは近所の人を知っているわけなので、近所の交流があれば近所の人に対応してあげることで解決できるのではとの意見がありました。

また、77歳の女性の声ということで、家でひとり暮らしで黙っていて寂しくてつらいとの声が有り、できればオープンカフェのような場所があるといいとの意見がありました。

あと高齢者が虐待されたときの保護する場所がない。介護認定を受けていなくても一時的に面倒を見ることができる場所があるとよい。

今回は以上のような意見がありました。以上です。

第2分科会 テーマ：子育て・教育・生涯学習

前回、子育て・教育に関し協働のまちづくりとして、どんな場面があるのかを、未就学児、学齢児、現役世代、高齢者世代の4つの世代に分けてどんなことができるかを話し合いましたが、今日はその内容をより具体的に何ができるか、誰がどこでできるのかを話し合いました。

その中には先ほど第1分科会であった子育てサロンや子どもたちや高齢者の交流の場などについても話が出ました。

それらを実施していくための課題について話し合った結果、コーディネーターの存在が必要であるが、そのコーディネーターになる方の動機付けをどのようにしたらよいか私たちの議論の中で問題となっています。

関谷先生から自己犠牲ではなく参加することに生きがいを得られるような活動にすることが大切だとのお話がありました。どのようにそれを実現すればよいか話しており、地域通貨を導入するなどの話が出ていますが今自分たちで模索しているところです。

もし、このことで皆さんからいいアイデアがありましたらご意見をいただければと思います。

以上です。

第3分科会 テーマ：防犯・防災・ボランティア

今日は中間発表に向けた取りまとめの作業を行いました。

防犯・防災・ボランティアの各カテゴリーにおいて、たくさんアイデアがでたので、似たようなアイデアを整理しました。また、まとめたアイデアをひとつひとつ掘り下げる作業を行いました。

作業としては、わかりやすい言葉や伝えやすい言葉の整理をしました。

アイデアを出すときに考慮したことがあり、関谷先生が前回アドバイスしてくれた4つの共通項を心がけて整理してみました。

たとえば項目1の「市民活動の意識の向上」項目2の「問題・課題の実態の把握・共有化」に関しては、災害防災知識の普及・啓発活動を行うといったことだったり、情報共有の点で防犯・防災マップの作成であったり、防犯関係のメール配信を行うなどのアイデアがありました。

項目3の「連携・支援のあり方」でいえば、活動団体の横の繋がり強化をしていくための体制を構築することや、見守り活動を行っていく。たとえば日常的に高齢者を見かけたら声をかけるなどのアイデアが出ました。

項目4「資源の活かし方」については、パトロール体制の強化、「ながらパトロール」という手法でたとえば犬の散歩をしながら防犯パトロールも行うなど、他にもアイデアは出ています。

これらのアイデアがたくさんでたことで感じたことは、協働のまちづくりなので、トップダウンやボトムアップの手法で終わるのではなく、総合的、自発的に何ができるかを考えて行動していく必要があると感じたので、中間発表に向けてそういった点も踏まえて作業を進めていきたいと思います。以上です。

第4分科会 テーマ：環境・都市計画

前回までのアイデアを再確認し、新たにでたアイデアもまとめて話し合いました。第4分科会で柱になる部分としては、移住して住みたいまちづくりが大きな柱になると確認しました。そのために、子ども、高齢者、障害者などすべてのひとにやさしいまちづくりが必要で、活力のあるまちづくりが必要であると確認しました。

その中でアイデアとして、今地元にある子どもの見守り隊などを充実させたり、広報してもっと存在を知ってもらい、新しい人が参加しやすくして充実を図ることができればとの意見が出ました。

その中で、枠組みを超えて何でもやるボランティアとか、見守りだけでなく通学路などの安全管理などもその方たちが行うなどのアイデアがでました。

そのほか駅前駐輪場の防犯についても、見守りのボランティアができる範囲で行うことも可能ではないかなどひとつのアイデアとしてでました。

そのほか交通安全として、市内の道路について右折レーンがないことが渋滞する理由だと思うが、ハード面の整備はお金がかかるので視点を変えて、ドライバーの譲り合いのこころを育むことで多少渋滞の緩和にもつながるのではとの意見がありました。また、そのことで、歩行者の安全も向上することが期待できるのでそういった意識を醸成することが必要ではないかとの意見がありました。

あとひとつ、きれいなまちづくりということで魅力的な自然を再発見するとか以前から上がっていたアイデアですが、ふれあいバスを使ったカタクリの名所巡りとか、桜の並木道にボランティアでベンチを整備したりとか、そうする活動で魅力を高めることができればよいとの意見が出ました。

次回は、今話した内容をもっと深めていければと思います。以上です。

第5分科会 テーマ：経済・産業・観光

今日は商業を主に話し合いました。商業の問題点として、主に駅前商店街の話をしました。駅前に人通りが少ない。駐車場がない。空き店舗が目立つ。などの問題点について話し合いを行いました。

現状としては、駐車場のある店舗にお客さんが流れてしまう。商店街の休日が火曜日で日曜日が定休日のお店も有り火曜日と日曜日が特に人通りが少

ないという問題があがりました。

空き店舗対策としていくつか案が出て、駅前に保育所を開設したりとか、空き店舗で人の集まるイベントを開催したりとか、空き店舗に人が集まるカフェのようなものをつくってはどうかとの意見がありました。

そのほか、総菜を扱うお店がないので、都内の商店街のように夕飯のおかずを買いに来るようなお客さんがいないとの指摘もありました。

あと駅の利用者が毎年減っているが、学生は平均的に利用者があるので、若い人が利用するお店が駅前に集まれば活気が出るのではないかとの意見がありました。

また、駅前の通りを時間を区切って一方通行にして片側の路肩に駐車できるようにするともう少し利用者が増えるのではないかとの意見がありました。次に観光についてですが、観光農園が市内にいくつかありますが、駐車場やトイレなどの設備が整備されていない。また、オートキャンプ場など若者が遊べる場所がない。公共交通を利用して何かができないかということで、高速バスを利用した観光農業体験ツアーのようなものを企画して東京からお客さんに来てもらう。

また、ふれあいバスを利用して市の史跡を巡るなど市外の方にも市内の市民にも市のいいところをPRしていくことが大事ではないかとの話が出ました。

あとは、八街の落花生のぼっちですね。ぼっちのある風景を守ってそれを観光につなげようという意見も出ました。それには多くの方の協力が必要で具体的にすぐにはできるかどうかは難しいのではとの意見がありました。

以上です。

事務局

発表に対してご質問・ご意見はありますか。

特になければ本日はこれで閉会とします。

次回は8月6日（水）に開催し中間発表となります。

資料のデータは8月1日までに事務局へ提出してください。

以上で本日の検討会は終了します。

お疲れ様でした。